古代の官道、横大路を歩く

大和八木駅～耳成駅

大和八木駅
1. 橿原市観光交流センター「かしはらナビプラザ」
2. 横大路の太神宮灯籠
3. 八木の接待場跡
4. 八木札の辻交流館（東の平田家）
5. 奈良県立畝傍高等学校（非公開）
6. 三輪神社

耳成駅

1 橿原市観光交流センター「かしはらナビプラザ」

中南和エリアは豊かな歴史や文化、自然を体感できる人気の観光スポットが点在する地域です。1階ではパンフレットも多数ご用意し、中南和エリアの便利で役立つ観光情報を紹介しています。（観光コンシェルジュが旅の相談にも応じます。）また、2階イベントスペースではそれらの地域の魅力を身近に感じられる展示を週替わりで開催しています。奈良のお土産もお買い求めいただけますので、奈良観光の際はぜひお立ち寄りください。

橿原市内膳町1−6−8〔9：00～19：00〕
Tel.0744−47−2270

2 横大路の太神宮灯籠

江戸時代に、伊勢神宮へ参詣する「おかげ参り」が流行し、伊勢神宮までの道先案内として街道筋に太神宮灯籠が設置されました。この灯籠は、ここから東へ約200mのところにある「接待場」と伝承されている場所にあったものを移築したものです。灯籠の竿（柱）に「明和八辛卯九月参宮接待連中」の銘文が刻まれ、1771年に設置されたようで、伊勢神宮参詣者を接待した場所であったことが推測されます。

3 八木の接待場跡

江戸時代に流行した「おかげ参り」で伊勢へ向かう旅人、伊勢からもどる旅人で賑わいました。当時、大和伊勢街道沿いでは八木が最大の宿場町であったこともあり八木の人びとは、こうした旅人に対して食事や湯茶の接待を行いました。ここがその接待を行った場所で、「八木接待場」と呼ばれ長く大切にされてきました。

4 八木札の辻交流館（東の平田家）

［市指定文化財］

「下ツ道」と「横大路」との交差点である「八木札の辻」を挟んで西の平田家、東の平田家が向かい合って建っています。いずれも江戸時代は旅籠で、東の平田家は18世紀後半～19世紀前半頃に建てられたと考えられています。1階は接客と主人の居室、2階が宿泊施設として利用されてきました。改修を行い現在は八木のまちを散策する拠点として一般公開しています。

5 奈良県立畝傍高等学校（非公開）

［登録有形文化財］

昭和8年（1933）に奈良県立畝傍中学校舎として竣工されました。北館正面中央に宝形造本瓦葺の塔屋を建てて相輪をあげ、また陸屋根の四周を本瓦葺にするなど、近代的な建物の要所に和風意匠を取り入れ、奈良に相応しい意匠が特徴です。

6 三輪神社

中ツ道と横大路の交差した場所に東面して鎮座する神社で、境内南西隅の水路の中には、古代寺院の痕跡ではないかと伝わる面堂の礎石があります。境内にあるケヤキは、嘉永元年（1848年）刊行の「西国三十三名所図会」にも描かれており、現在は太い幹には空洞が見られますが、当時から往来する人々を見守り続けています。

7 ＪＲ畝傍駅

畝傍駅は明治26年、当時の大阪鉄道の駅として開業しました。現在の駅舎は昭和15年の紀元2600年祭に合わせて造られました。畝傍駅は、かつて橿原神宮や神武天皇陵の最寄り駅で、参拝する皇族のために駅舎内に重厚な雰囲気が漂う貴賓室（非公開）がもうけられています。